

建築科 2年連続 2級建築大工技能検定(国家検定)合格

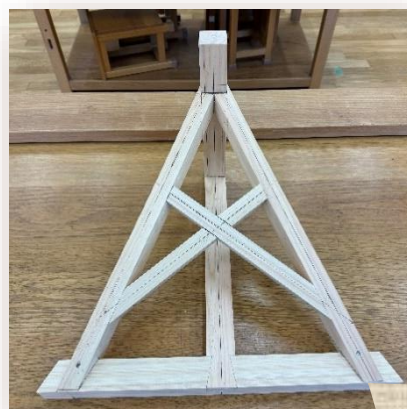
この度、本校建築科2年生 高瀬 蓮歩さんが、建築大工技能検定2級(国家検定)に合格しました。この試験は難易度が高く、令和3年度の課題変更後の高校生での合格者は、山陰両県で数名のみです。高瀬さんは、一年次に建築大工技能検定3級を合格し、特訓の末に今回試験に挑み、初挑戦で合格することができました。本校としても、昨年度に引き続き2年連続の合格となりました。建築大工技能検定2級は建築大工としての高い技術を証明するための資格です。

以下高瀬さん感想

私はこの検定を通して、今までに感じたことのないほどの苦難に直面しました。練習では同じ作品を繰り返し作り、特に真ん中の筋交いや垂木の部分は何度も練習を重ねました。しかし、何度繰り返してもなかなか上手く作れず、途中で諦めそうになったこともありました。そんな中でも丁寧に、細かく教えてくださる先生や先輩、練習後に励ましてくださった先生方がおられたので、最後まで力を出し切ることができました。支えてくださった先生や先輩にとっても感謝しています。そしてこういったたくさんの努力や支えがあったからこそ、「合格」を知った時、感極まる気持ちになりました。これから、この検定で学んだ技能や知識を活かしていきたいと思えます。



〈実技試験〉



〈完成作品〉

〈試験概要〉

実技試験 (3時間30分)

課題：小屋組の平面図、正面図、側面図及び屋根筋かいの現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工組立てを行う。

学科試験 (1時間40分)

問題：建築大工として必要な知識を真偽法(25問)と択一法(25問)により解答する